

甘楽西部地域 循環型社会形成推進地域計画

甘楽西部環境衛生施設組合

群馬県下仁田町

群馬県南牧村

平成22年12月

目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標	2
3. 施策の内容	5
4. 計画のフォローアップと事後評価	10

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 下仁田町・南牧村

面積 307.05km²

人口 12,115人(平成22年3月31日現在)

(内 訳)

町村名	下仁田町	南牧村
面積(km ²)	188.27km ²	118.78km ²
人口(人)	9,484人	2,631人
備考	山村地域・過疎地域	山村地域・過疎地域

(2) 計画期間

本計画は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

近年、収集可燃ごみ量原単位が増加傾向であることから、その排出抑制に努め、減量化に努めることとする。

また、既存ごみ処理関連施設(焼却施設・リサイクルセンター・最終処分場)の適正な維持管理に努め、適正処理の継続に努めることとする。

そのために、各施設について、長寿命化・延命化を図ることとし、特に老朽化が懸念される焼却施設については、長寿命化計画を策定し、対策を施すこととする。

生活排水の処理については、環境に配慮した生活排水処理の推進を行うこととし、生活環境の改善と美しい河川の保全に努めることとする。

生活排水の処理の推進については、地域性を考慮して、合併浄化槽の設置推進によることとする。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成21年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図1のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、3,071 t であり、再生利用される「総資源化量」は612 t、リサイクル率(=総資源化量/総排出量)は19.9%である。

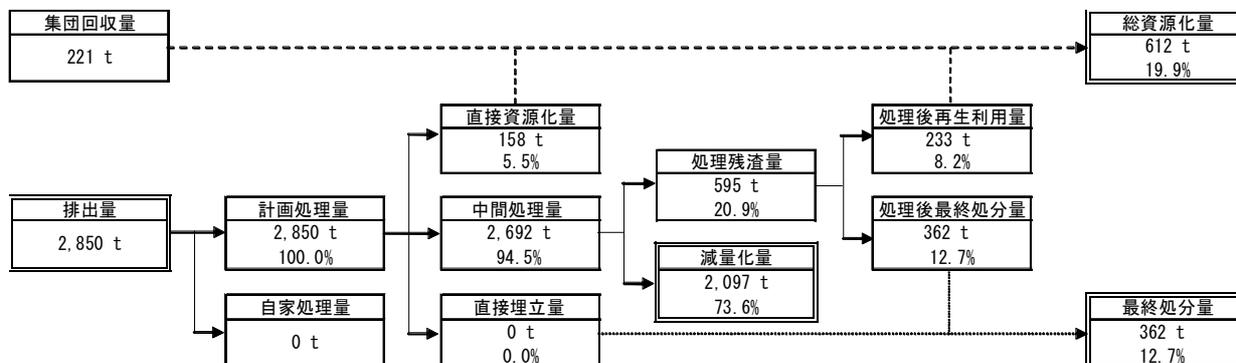


図1 一般廃棄物の処理状況フロー

(2) 生活排水の処理の現状

平成21年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は次のとおりである。

生活排水処理対象人口は、全体で12,115人であり、汚水衛生処理人口は1,939人、汚水衛生処理率16%である。

し尿発生量は2,667k1/年、浄化槽汚泥発生量は、5,440k1/年であり、処理・処分量(=収集・運搬量)は8,107k1/年である。

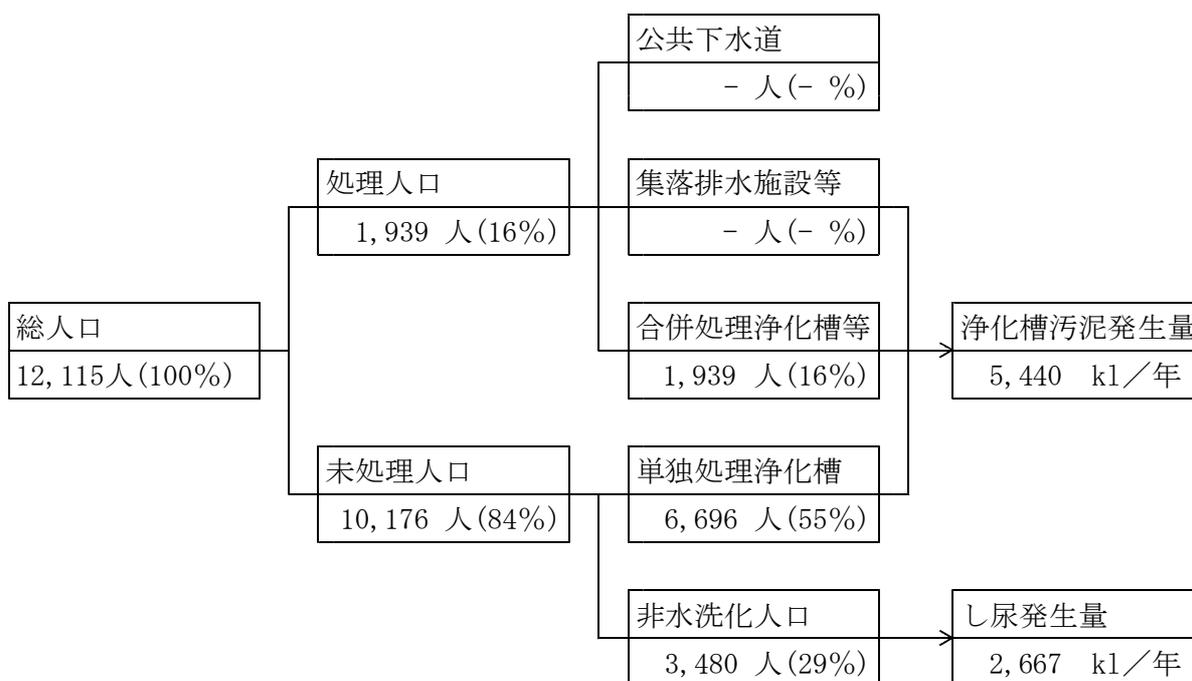


図2 生活排水の処理状況フロー

(3)一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表2のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表2 減量化・再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状(割合 ^{※1}) 平成21年度		目 標(割合 ^{※1}) 平成27年度	
排出量	事業系 総排出量	683 t		610 t (-10.7%)	
	1事業所当たりの排出量 ^{※2}	0.83 t/事業所		0.75 t/事業所(-10.7%)	
	家庭系 総排出量	2,167 t		1,820 t (-16.0%)	
	1人当たりの排出量 ^{※3}	160.45kg/人		163.07kg/人 (+1.6%)	
合 計	事業系家庭系排出量合計	2,850 t		2,438 t (-14.5%)	
再生利用量	直接資源化量	158 t	(5.5%)	33 t	(1.2%)
	総資源化量	233 t	(19.9%)	577 t	(21.1%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—		—	
減量化量	中間処理による減量化量	2,097 t	(73.6%)	1,849 t	(75.8%)
最終処分量	埋立最終処分量	362 t	(12.7%)	312 t	(10.9%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

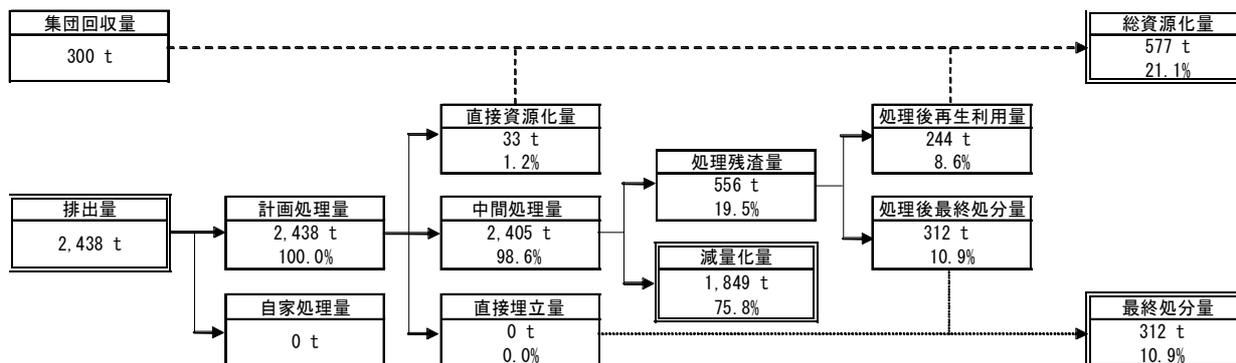
排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く) [単位：t]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：t]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位：t]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：t]



(4)生活排水処理の目標

生活排水処理については、表3に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表3 生活排水処理に関する現状と目標

		平成21年度	平成27年度目標
処理形態別人口	公共下水道	- 人 (- %)	- 人 (- %)
	農業集落排水施設等	- 人 (- %)	- 人 (- %)
	合併処理浄化槽等	1,939 人 (16%)	2,569 人 (25%)
	未処理人口	10,176 人 (84%)	7,705 人 (75%)
	合計	12,115 人	10,274 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	2,667 キロリットル	1,657 キロリットル
	浄化槽汚泥量	5,440 キロリットル	5,377 キロリットル
	合計	8,107 キロリットル	7,033 キロリットル

3. 施策の内容

(1) 排出抑制・再使用の促進

甘楽西部地域では資源物の分別回収・集団回収、生ごみ処理機の普及促進により再資源化・減量化を行っている。現状、本地域のリサイクル率は県平均値を上回っており、今後も現状の対策の継続により、高いリサイクル率の維持に努めることとする。

平成20年度リサイクル率の比較

	本組合	群馬県	全国
総排出量	3,239 t/年	829,085 t/年	31,177,385 t/年
集団回収量	254 t/年	50,132 t/年	2,926,203 t/年
集団回収比率	7.8 %	6.0 %	6.1 %
総再資源化量	555 t/年	129,920 t/年	9,776,157 t/年
リサイクル率	17.1 %	15.7 %	20.3 %

また、本地域で近年増加傾向にある収集可燃ごみについて、今後下記の排出抑制に取り組み、平成22年度推計値相当である430 g/人・日で抑制することとし、下表に示すとおり、平成19年度比25%の削減を減量化目標値とする。

●収集可燃ごみの排出抑制策

- ・住民への啓発活動(広報誌による啓発、リサイクル教育等)
- ・生ごみ処理機の普及促進並びに利用促進

※指定ごみ袋での収集を実施しているもののごみ処理の有料化は未実施であり今後排出量及びリサイクル率の推移をみて、必要に応じてその検討を行う。

	平成19年度	平成27年度推計値	平成27年度目標値
収集可燃ごみ量原単位	447.0 g/人・日	457.5 g/人・日	430.0 g/人・日
総排出量原単位	8.93 t/日	6.97 t/日	6.69 t/日
対平成18年度比	100.0 %	78.0 %	74.9 %

※総排出量原単位には集団回収を含まない

なお、生活排水処理については、生活排水処理対策の必要性、浄化槽の設置及び管理の重要性について、定期的に広報・啓発活動を実施し、住民への周知を図り、合併浄化槽の設置を推進する。

し尿・汚泥処理については、当面現有施設での処理を継続する。

(2) 処理体制

ごみ処理の体制は現在、甘楽西部衛生処理施設組合が主体となって行っており、今後も現状の体制を維持するものとする。

なお、分別区分及び処理方法については、表4のとおりである。

生活排水処理の体制は現在、し尿・汚泥については甘楽西部環境衛生施設組合が主体となって行っており、今後も現状の体制を維持するものとする。

なお、現在処理を行っている下仁田・南牧クリーンセンターについては、供用開始後15年が経過しており、適正な維持管理のもと、適正処理の継続に努めることとするが、適宜、精密機能検査を実施し、必要に応じて長寿命化・施設更新の検討を行うこととする。

表 4 甘楽西部地域の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (平成21年度)				今 後 (平成27年度)				
分別区分	処理方法	処理施設等		分別区分	処理方法	処理施設等		
		一次処理	二次処理			一次処理	二次処理	
可燃ごみ	焼却	甘楽西部環境衛生施設組合清掃センター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット	可燃ごみ	焼却	甘楽西部環境衛生施設組合清掃センター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット	1,613t
								実績
不燃ごみ	破砕・選別	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	不燃ごみ	破砕・選別	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	62t
								実績
粗大ごみ	破砕・選別	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	粗大ごみ	破砕・選別	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	2t
								実績
資源ごみ	リサイクル	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	資源ごみ	リサイクル	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	26t
								缶類
								びん類
								ペットボトル
紙類	ストック	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	紙類	ストック	甘楽西部環境衛生施設組合リサイクルセンター	甘楽西部環境衛生施設組合クリンポケット(埋立)	80t
								梱包
								紙類
								紙類
その他	ストック	(委託)	その他	ストック	(委託)	その他	(委託)	33t

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

現有施設を適切に維持管理し、処理を継続することとする。

なお、焼却施設については一部老朽化が懸念されることから長寿命化計画のうえ、改修し処理を継続することとする。

表5 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	廃棄物処理施設の 基幹的設備改良事業 (ごみ焼却施設)	甘楽西部環境衛生施設 組合清掃センター基幹 改良事業	15 t / 8 h	下仁田町大 字下仁田字 折ノ沢888-2	H23～H24

イ 合併浄化槽の整備

合併浄化槽の整備については、表6のとおり行う。

表6 合併浄化槽への移行計画

事業	直近の整備済 基数(基) (平成21年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
浄化槽設置整備事業	0			
浄化槽市町村整備推進事業	26	250	700	H23～H27
その他地方単独事業				
合計	26	250	700	0

(4)その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 集団回収の促進

集団回収による有価物収集量に応じて補助金を交付し、集団回収を促進する。

有価物の種類		回収単位	換算率	補助金単価
古紙類	新聞紙	kg	1	5円/kg
	雑誌	kg	1	5円/kg
	段ボール	kg	1	5円/kg
布類(ウェス)		kg	1	5円/kg
びん類	1.81びん	本	1	5円/本
	その他の益びん	本	0.7	3.5円/本
	びん箱	個	3	15円/個
缶類	アルミ缶	kg	5	25円/kg
	スチール缶	kg	2	10円/kg

※補助金額＝回収数量×換算率×5円

イ 生ごみ処理機の普及及び利用促進

生ごみ処理機購入時に1世帯1基購入額の半額を上限25,000円として助成し、普及促進すると共に、広報誌・講習会等により利用の促進を図る。

ウ 住民への啓発等

- ・広報誌を利用した啓発

各町村広報誌及びホームページによる目標達成状況の開示を行う。

- ・環境教育

小学校の社会科見学でのごみ処理施設見学の実施。

夏休みの環境ポスターコンテストの実施。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

甘楽西部地域両町村は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、両町村・群馬県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成23年度)

1 地域の概要

(1)地域名	群馬県甘楽西部地域	(2)地域内人口	12,115人	(3)地域面積	307.05km ²
(4)構成市町村等名	甘楽西部環境衛生施設組合	(5)地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 (山村) 半島 (過疎) その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村：下仁田町・南牧村				

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)							目標	
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度
排出量	事業系 総排出量(トン)	746	770	806	872	727	683	610 (H21比-10.7%)		
	1 事業所当たりの排出量(トン/棟新)	0.92	0.95	1.00	1.08	0.90	0.83	0.75 (H21比-10.7%)		
	家庭系 総排出量(トン)	2,421	2,382	2,436	2,506	2,985	2,167	1,831 (H21比-16.0%)		
	1 人当たりの排出量(kg/人)	151.7	154.0	158.6	172.1	161.7	160.5	163.1 (H21比+ 1.6%)		
	集団回収量(トン)	237	340	161	284	254	221	300		
合計 事業系家庭系排出量合計	3,415	3,492	3,403	3,662	3,239	3,071	2,738 (H21比-11%)			
再生利用量	直接資源化量(トン)	205 (6%)	94 (3%)	295 (9%)	255 (7%)	195 (6%)	221 (7%)	300 (6%)		
	総資源化量(トン)	473 (15%)	352 (10%)	558 (16%)	481 (13%)	555 (17%)	612 (20%)	577 (21.1%)		
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	-	-	-	-	-	-	-		
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	2,261 (71%)	2,412 (69%)	2,268 (67%)	2,441 (67%)	2,174 (67%)	2,097 (74%)	1,849 (68%)		
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	425 (13%)	388 (11%)	416 (12%)	456 (12%)	386 (12%)	362 (13%)	312 (11%)		

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容		更新、廃止、新設の内容				備考			
		型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止理由	型式及び処理方式		施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
廃棄物処理施設	甘楽西部環境衛生施設組合	パッチ式焼却炉	BN	S61.4	H25.4	老朽化	パッチ式焼却炉	BN	H25.4	15トン/日	H14.4基幹改良

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)							目標	
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度	平成27年度	
総人口		13,811	13,525	13,176	12,818	12,448	12,115	10,274		
公共下水道		-	-	-	-	-	-	-		
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	-	-	-	-	-	-	-		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	-	-	-	-	-	-	-		
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	-	-	-	-	-	-	-		
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1,445 10.5%	1,465 10.8%	1,625 12.3%	1,682 13.1%	1,802 14.5%	1,939 16.0%	2,569 25.0%		
未処理人口		12,366	12,060	11,551	11,136	10,646	10,176	7,705		

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容		更新、廃止、新設の内容		備考
		基数	処理人口	基数	処理人口	
浄化槽市町村整備推進事業	下仁田町	76	250	250	1,069	H27

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成23年度)

事業種別	事業番号	事業主体 名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考
			単位		開始	終了	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
○基幹改良事業	1	甘楽西部環境 衛生施設組合	15 t/d	H23	H24	578,130	194,229	383,901			512,481	136,797	375,684				
○浄化槽に関する事業						235,000	47,000	47,000	47,000	47,000	228,427	45,685	45,685	45,685	45,685		
浄化槽市町村整備推進事業	2	下仁田町	250 基	H23	H27	235,000	47,000	47,000	47,000	47,000	228,427	45,685	45,685	45,685	45,685		
合 計						813,130	241,229	430,901	47,000	47,000	740,906	182,482	421,369	45,685	45,685		

甘楽西部環境衛生施設組合構成市町村；下仁田町・南牧村

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
排出抑制、 再使用の 推進に関するもの	11	集団回収の促進	集団回収による有価物収集量に応じて補助金を交付し、集団回収を促進する。	下仁田町 南牧村			否	事業実施					
	12	生ごみ処理機の普及・利用促進	生ごみ処理機購入時に1世帯1基購入額の半額を上限25,000円として助成し、普及促進すると共に、広報誌・講習会等により利用の促進を図る。	下仁田町 南牧村			否	事業実施					
	13	住民への啓発等	・ 広報誌を利用した啓発 ・ 環境教育	下仁田町 南牧村			否	事業実施					
処理体制の 構築、変更 に関するもの													
処理施設の 整備に関するもの	1	廃棄物処理施設の 基幹的設備改良事業	ごみ焼却施設	甘楽西部 環境衛生 施設組合			要	事業実施					
	2	合併浄化槽整備		下仁田町	H23	H27	要	事業実施					
その他													

施設概要（熱回収施設系）

都道府県名

(1) 事業主体名	甘楽西部環境衛生施設組合
(2) 施設名称	甘楽西部環境衛生施設組合清掃センター
(3) 工期	平成 23 年度 ～ 平成 24 年度
(4) 施設規模	処理能力 15 t/日 (7.5 t/日×2炉)
(5) 形式及び処理方式	バッチ式焼却炉 BN
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 有 (発電効率 %) ・ <input type="radio"/> 無 2. 熱回収の有無 有 (熱回収率 %) ・ <input type="radio"/> 無
(7) 地域計画内の役割	現有施設を適切に維持管理し、処理を継続することとする。 なお、焼却施設については一部老朽化が懸念されることから長寿命化計画のうえ、改修し処理を継続することとする。
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無

「灰溶融施設」を整備する場合

(9) スラグの利用計画	
--------------	--

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	1. 発生ガス回収効率 Nm ³ /t 2. 発生ガス量 Nm ³ /日
(11) 回収ガスの利用計画	
(12) 事業計画額	578,130 千円